

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 560 号	氏名	伊藤 信一郎
学位審査委員	主 査	宮崎 泰司	
	副 査	中尾 一彦	
	副 査	永安 武	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、将来のがんワクチンへの応用を見据え、単球由来ヒト樹状細胞において効果的な抗原提示が可能となる培養条件を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 末梢血単球から未熟樹状細胞を誘導したのち、NY-ES0-1 と heat shock cognate protein 70 (hsc70) 融合蛋白質によって Th1 または Th2 タイプの樹状細胞へ成熟させる実験系を確立した後、その培養環境や添加する抗体によって Th1 タイプの成熟樹状細胞への成熟を促す条件を検討している。実験の各段階はそれぞれに適切な対照がおかれ、研究デザイン、手法ともに適切である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、hsc70 と NY-ES0-1 融合蛋白質を用いた場合には、抗 IL-6 抗体、抗 IL-6 受容体抗体の添加が Th1 タイプ樹状細胞への成熟を促進すること、培養時の血清濃度を低下させると Th2 タイプ樹状細胞へ分化しやすいことが明らかとなり、効果的ながんワクチン療法への応用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、腫瘍免疫研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			